

## 事後評価結果（令和 7年度）

事業名	一般国道32号 <small>いのほな</small> 猪ノ鼻道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自: 香川県三豊市財田町財田上 至: 徳島県三好市池田町州津			延長	8.4 km

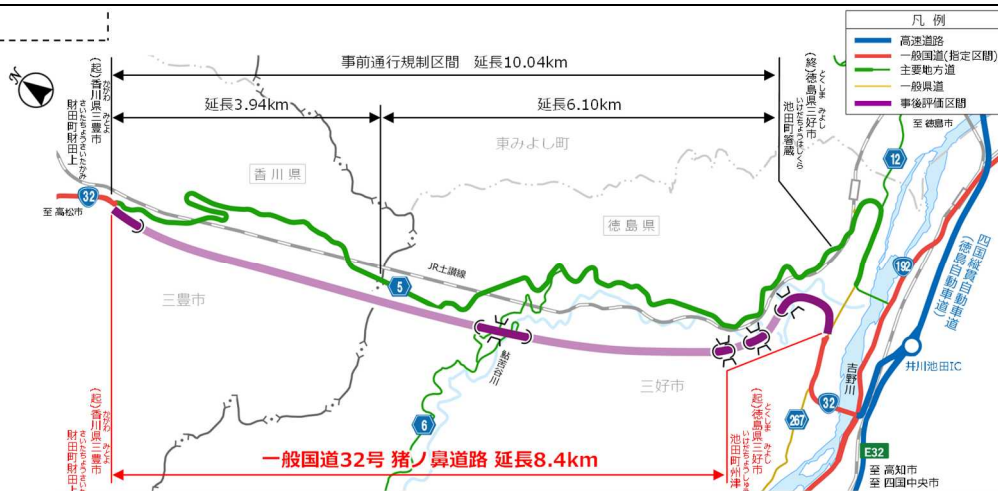
### 事業概要

一般国道32号は、香川県高松市を起点に徳島県三好市を經由し、高知県高知市に至る約133kmの広域幹線道路ネットワークである。猪ノ鼻道路は、異常気象時の通行止め解消、連続する急勾配やヘアピンカーブの回避、冬期の積雪・凍結による通行障害の軽減により、安全で信頼性のある交通機能を確保するとともに、徳島県西部地域と香川県西部地域の連携強化を図る延長8.4kmの事業であり、令和2年度に全線開通した。

### 地域の防災面の課題

- ・猪ノ鼻道路に並行する県道は、山間部を通過し、法面崩落や路肩崩壊などの災害危険箇所が57箇所、線形不良箇所(R<80)が28箇所、7%の急勾配箇所が2箇所存在していた。
- ・平成16年12月6日の法面崩落災害では、約97時間にわたって全面通行止めとなった。
- ・事前通行規制区間(L=10.04km)が存在し、H15～R2の18年間では、約6日(延べ5回)の全面通行止めが発生していた。
- ・また、積雪によりH23～R2の10年間は、41.5時間/年のチェーン等必要の通行障害が発生していた。
- ・このため、地域住民が日常生活を営む上で重大な障害及び不安要素となっており、地域の喫緊の課題となっていた。

### 事業概要図



事業の 効果 等	事業期間	事業化年度: H15年度 用地着手: H19年度 供用年: (再評価) - / R4年度	都市計画決定: H-年度 工事着手: H19年度 (暫定/完成)	(実績)	(実績)	変動	0.9倍
	事業費	計画時 (名目値) - / 432億円	実績 (名目値) - / 387億円	暫定/完成 (実績値) - / 393億円	暫定/完成 (実績値) - / 495億円	変動	0.9倍
費用対効果 分析結果 (再評価)	<b>事業の効果等</b> ○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等(426億円) ○災害による被害の回避等 ・災害等の通行止めによる経済損失(0.35億円) ・災害等の通行止めによる沿道の孤立による経済損失(1.6億円) ○地域住民の不安感の解消 ・災害時の通行止めや冬期の凍結・積雪時の不安感を解消 ・線形不良区間の解消による運転者の心理的負担の軽減				<b>費用</b> 351 億円 事業費: 334 億円 維持管理費: 17 億円		
費用対効果 分析結果 (事後)	<b>事業の効果等</b> ○異常気象時における事前通行規制区間(L=約10.04km)の解消 ○緊急輸送道路の信頼性向上 ○線形不良箇所の回避による走行性・安全性の向上 走行時間の短縮等<通行止めによる迂回の解消、冬期の通行障害の軽減>(233億円)				<b>費用</b> 617 億円 事業費: 580 億円 維持管理費: 37 億円		

	<p>事業遅延の理由 特になし</p>
	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国土・地域ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で構成 (三好市～丸亀市(所要時間:70分→60分)、三好市～坂出市(所要時間:72分→62分))</li> <li>・線形不良箇所(R&lt;80)が解消(28箇所)</li> <li>・並行する県道における大型車のすれ違い困難区間が解消(7箇所)</li> </ul> </li> <li>○安全で安心できるくらしの確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設へのアクセス向上 (三好市役所～四国こどもとおとなの医療センター(所要時間:【並行する県道→本線】57分→47分、【高速道路→本線】54分→47分))</li> </ul> </li> <li>○災害への備え <ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に指定(一般国道32号)</li> <li>・高松自動車道が通行止めになった場合の代替路を形成(一般国道32号)</li> <li>・並行する県道の防災点検箇所(57箇所)を回避するルートを形成(一般国道32号)</li> <li>・並行する県道の事前通行規制区間(L=10.04km)を回避(一般国道32号)</li> <li>・積雪、路面の凍結等による冬期の通行障害を軽減(一般国道32号)</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">他11項目に該当</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目 -</p>
事業による環境変化	<p>環境影響評価に対応する項目 -</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目 -</p>
	<p>事業評価監視委員会の意見 ・「今後の事後評価及び改善措置の必要性はない」とする事業者の判断は妥当である。</p>
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線地域(三好市・三豊市)の人口は減少傾向。</li> <li>・自然・歴史・文化等において密接な関係のある観光地として「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」が認定。</li> </ul>
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猪ノ鼻道路の完成供用により、線形不良区間の解消、事前通行規制区間の回避、冬期の通行障害の軽減、広域医療の支援、地域間の連携強化を支援など、猪ノ鼻道路の整備目的に見合った効果が確認できていることから、今後の事業評価および改善措置の必要性はない。</li> </ul>
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業前・事業後の整備効果に関して統計指標、ヒアリング等を用いて、整備効果の確認ができています。</li> <li>・同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性は見られない。</li> </ul>
	<p>特記事項 ・特になし</p>

※ 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※ 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。